

屋内空間チェックリスト (素案)

●チェックリストの提出

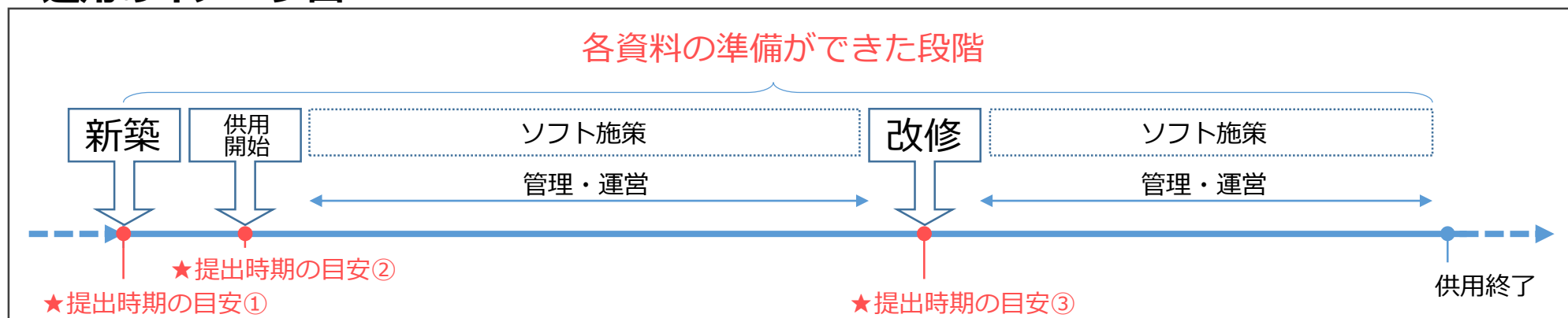
チェックリストの提出は「任意」とする。

●チェックリストの提出時期の目安

「各資料の準備ができた段階」であればいつでも提出可能とする。

目安としては、新築建物は、①新築工事前後又は②建物供用開始前後
既存建物は、③改修工事前後である。

■運用のイメージ図



●チェックリストの対象者

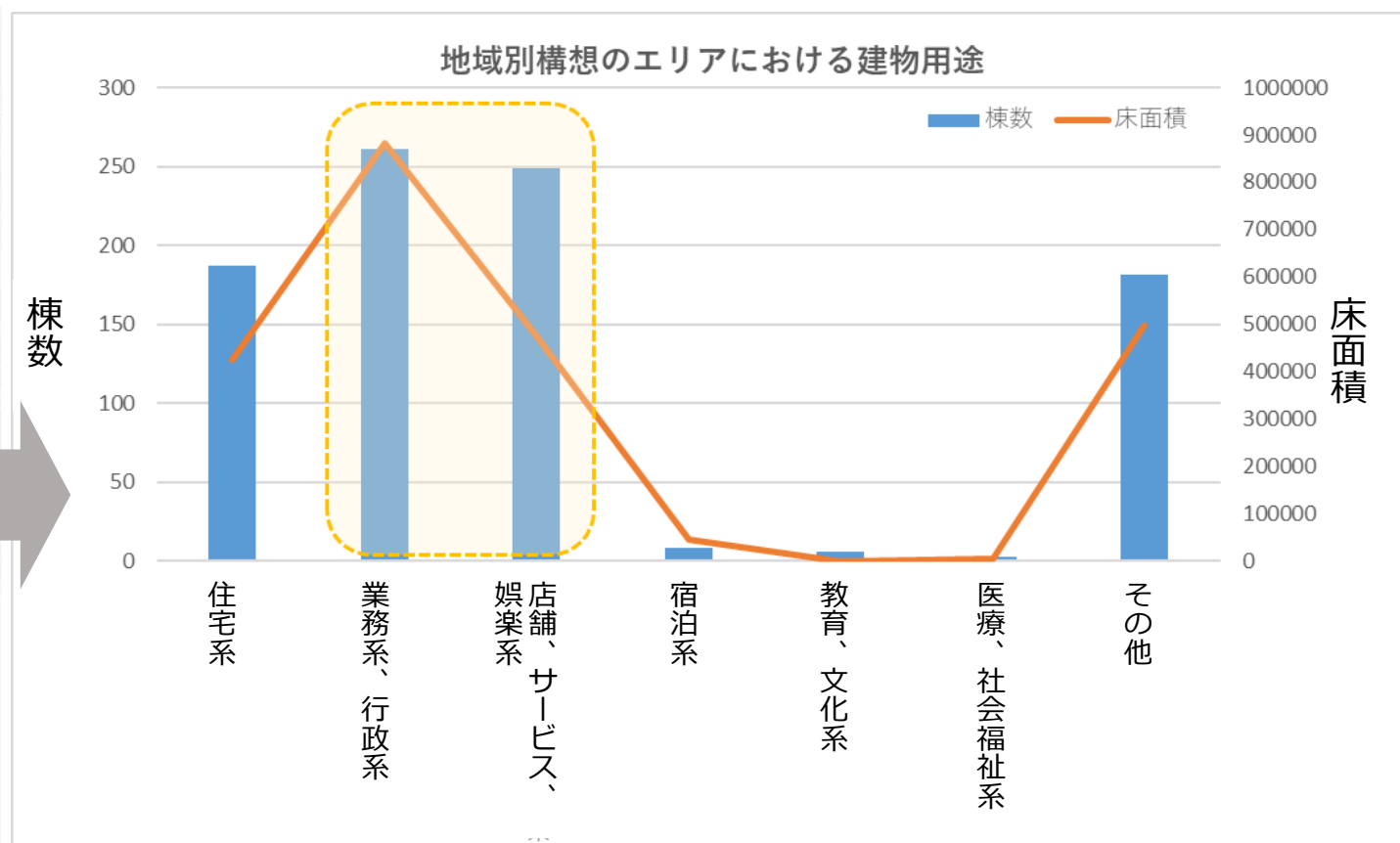
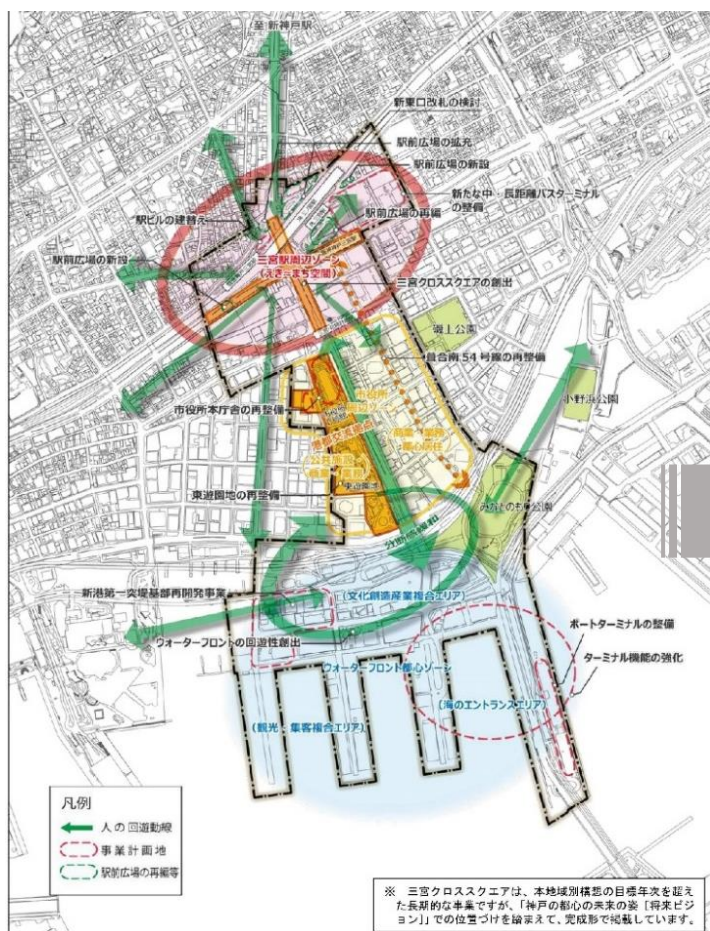
- ① 建物所有者・管理者 ≡ 建築主、自社ビル所有者、テナントビル所有者、建物共用部管理者
- ② 建物使用者 ≡ 自社ビル使用者、テナント部分使用者

●対象とする用途

用途のボリュームを踏まえ、「事務所」と「店舗」とする。

【参考】

都心三宮周辺のエリア（都市計画マスタープラン地域別構想“三宮～ウォーターフロント都心地区編”）における建物用途の割合は、棟数・床面積ともに「業務系、行政系」「店舗、サービス、娯楽系」が多い。



※都市計画基礎調査（R1）等のデータより

○. 屋内空間チェックリスト（素案）

項目の切り口	項目【17項目】	内容	評価対象者の可能性		
			建物所有者・管理者	建物使用者	
				事務所	店舗
①身体的距離	1-1.レイアウトの柔軟性	間仕切りを一新できるなど変更可能であり、設備機器（空調・換気）がレイアウト変更に対応した区画に分けて運用できるか	○	×	×
	1-2.位置情報の可視化	位置情報の可視化による入室分散管理ができるか	×	○	○
	1-3.座席配置・ソーシャルディスタンスの明示	【標準レベル】 1m以上2m未満の間隔を明示 【推奨レベル】 2m以上の間隔を明示	×	○	○
②換気	2-1.換気について				
	2-1-1.機械換気	【標準レベル】 25m ³ /h・人以上30m ³ /h・人未満 【推奨レベル】 30m ³ /h・人以上	○	×	×
	2-1-2.高効率な換気設備	換気効率の高い換気設備があるか	○	×	×
	2-1-3.便所空間の換気	第3種換気であり、窓が無い又は容易に開放できないようにできるか	○	×	×
	2-1-4.自然換気（窓の開閉） ※便所空間を除く	【標準レベル】 開閉可能な窓もしくは換気口があるか 【推奨レベル】 自然換気窓の自動制御システムの導入など	○	×	×
	2-2.CO2濃度の監視	中央監視装置があるか又は濃度測定器を備えているか	○	○	○
	2-3.空調用フィルタ	中性能フィルタ以上を使用し、風量や適用床面積等、総合的な設計がなされているか	○	×	×
	2-4.空気清浄機の設置	HEPAフィルタによるろ過式で風量が毎分5m ³ 程度以上の空気清浄機をメーカーが指定する適用床面積に応じて設置することができるか	×	○	○
③非接触	3-1.出入口部のタッチレス仕様の導入				
	3-1-1.出入口の非接触化	入退館時（非接触IDカード/顔認証システム）、受付（遮蔽スクリーン/非対面式（電話・タッチパネル）/応対不要）、ドア（非接触自動ドア/ドアレス）に非接触の工夫があるか	○	○	○
	3-1-2.タッチレスEV	タッチレスEVがあるか	○	×	×
	3-2.便所空間のタッチレス仕様の導入				
	3-2-1.洗面台の自動水栓化	自動水栓があるか	○	×	×
	3-2-2.便器洗浄操作のタッチレス化	センサー式便器洗浄か	○	×	×
④運用	4-1.感染症対策の意識付け	感染症対策について事前検討ができているか	○	○	○
	4-2.検温・手指消毒の実施	検温・手指消毒のための備品の設置想定位置があるか	○	○	○
	4-3.アクリル板の設置	アクリル板を用意しているか	○	○	○